



株式会社ライズ・スクウェア様



<人材派遣にコメダ珈琲店さんまで>

八尾からスタートして10年、海外事業は6年から7年前からとおっしゃるライズ・スクウェア様。

人材派遣・業務請人材事業などの総合人材派遣サービス、ベトナムを中心としたアジア諸国の方に就労支援を行い、企業様の海外進出のサポートをするグローバル人材事業、大阪万博を控え、環境や衛生への意識が高まっていることに着目した環境衛生事業、そしてみなさんご存知あの「コメダ珈琲店」のフランチャイズ事業もなさっています。

エール学園卒業生のレさん、リンさんにも会えました。レさんは就職してもうすぐ4年。役職(管理部主任)にもつきました。「これから就職する人たちのアルバイトの採用を担当しています。今は働く時間がコロナで規制されて、夜に働けず、工場で働きたい人がたくさんいます。働ける企業さんをお願いしたりしています。クレームもたくさんあります。今一番の課題は、新しいビザができたことで、申請書類やどこまでの範囲運用可能かなど、わからないことがたくさんあります。」とのこと。企業と留学生に挟まれる立場のようですね。リンさんは卒業後そのままライズ・スクウェア様で就職し2年目になります。スタッフの管理を担当し、勝手に仕事を休む人がいて困るそうです。特定技能や就職のことをもっと勉強したいそうです。



学校での指導が仕事にも繋がる

ライズ・スクウェア様のお話では「指導が厳しい学校の留学生のほうが『学校に電話するよ』で連絡がつくので、厳しくしっかり管理していただくと助かる」とのこと。

エール学園の就職ゼミという授業では、1秒でも遅れたら鍵をしめ、教室に入れない、課題は提出するまで追いかけるという厳しい授業だったそうですが、そのくらいがちょうどいいのではないのでしょうか。留学生たちの日本での生活態度や時間管理は学校にも責任がありますね。ますます指導に力が入り、身が引きしまる思いです。

人材派遣をメインでやっていくそうですが、飲食業(コメダ珈琲)の人材育成、環境事業などISPGもしているので、そういうところで、外国の方が活躍できるフィールドを作っていけたら、とおっしゃっていました。ライズ・スクウェアさんの今後展開される事業がとても楽しみになったインタビューでした。